

【取組1】

上柴西小学校 教科名(国語)

豊かに表現し、伝え合う力を育てる

1 ねらい

○自ら学び自ら思いを豊かに表現できる児童の育成を目指し、国語科における伝え合う力を高める活動を通して行う。

2 取組概要

- (1) 視写・・・隔週で月曜日の朝学習の時間に取り組む。授業の中での視写。
- (2) 群読・・・群読集会に向け選んだ詩を家でも取り組み、家庭の協力も得て作品作りに取り組む。
- (3) 漢字・・・各クラスで漢字練習・テストに取り組み「挑戦・確認・定着」を目指しながら3回テストを実施後、全校漢字テストに取り組ませる。
- (4) 読書・・・「アジサイ読書」の活動、百冊読書を目指すなど意欲化を図り取り組む。

3 成果等

- 視写のやり方がわかり書くことへの抵抗感が減ると共に視写力が向上した。
- 詩の群読を通して、声の重なりや大きさの変化ひいては群読の楽しさに気づき、豊かな感性や自己表現力・発表力を高めることができた。
- 漢字の学習に意欲的に取り組む児童が増え、読書への関心が高まり、幅も広がった。

【取組2】

上柴西小学校 教科名(理科)

見通しを持って観察・実験する学習

1 ねらい

○見通しを持って観察・実験などを行い、問題解決の能力を育てる。

2 取組概要

- (1) 見通しを持って(予想を立てて)観察・実験を行い、問題解決の能力を育てる指導例
- (2) 第4学年「電気のはたらき」
- (3) 本時の目標

学習目標	学習内容	学習活動	評価
電気のはたらきを理解し、安全に扱うことができる。	電気のしくみ、電気の危険性、安全に扱う方法。	電気のしくみを観察し、電気の危険性を体験する。	電気のしくみを説明できる。
電気のしくみを理解し、電気の危険性を認識することができる。	電気のしくみ、電気の危険性、安全に扱う方法。	電気のしくみを観察し、電気の危険性を体験する。	電気のしくみを説明できる。
電気のしくみを理解し、電気の危険性を認識することができる。	電気のしくみ、電気の危険性、安全に扱う方法。	電気のしくみを観察し、電気の危険性を体験する。	電気のしくみを説明できる。

- ア 直列つなぎや並列つなぎにした時の豆電球の明るさを、モーターのまわり方と関係づけながら予想することができる。
- イ 直列つなぎや並列つなぎにした時の豆電球の明るさに関心を持ち、すすんで実験をしようとする。

3 成果等

3, 4年生の各単元において、自分で予想を立ててから観察・実験することにより、意欲が高まり、理解度も高まった。

